トステム株式会社

カーブテラスⅡ・レーネテラスⅡ用　出幅自在桁　取付け説明書

■施工前の準備

1 柱の切り詰め

①出幅自在桁の位置によって柱の高さが変わります。切り詰め加工寸法を下表及びグラフから決定してください。

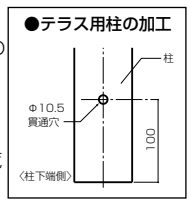
※柱の調整範囲dは
- ・カーブテラスⅡA型：115mm～300mm
- ・カーブテラスⅡB型：　90mm～300mm
- ・レーネテラスⅡ　　：120mm～300mm

※下表及びグラフの切断寸法は、姿図・基本図の寸法により算出したものです。垂木掛けの位置(h)の変更に伴い、切断寸法も変わります。（算出例参照）

注)テラス用柱は必ず下端を切り詰めて、アンカー棒の穴加工をしてください。

※屋根用柱の加工は、カーブテラスⅡ·レーネテラスⅡ各々の取付け説明書をご覧ください。

●テラス用柱の加工



2 柱位置(d)と切断寸法表

※dが表にない場合は、柱調整範囲と柱切断寸法グラフによって算出してください。

■カーブテラスⅡA型

D＼d	115	150	200	250	300
5・6尺	2630.5	2673.5	2715.5	2753	2777.5
	1205.5	1248.5	1290.5	1328	1352.5

上段：テラス用柱切断寸法　下段：屋根用柱切断寸法

■カーブテラスⅡB型

D＼d	90	100	150	200	250	300
9尺(1500形)	2649.5	2661	2711.5	2747.5	2773.5	2792.5
	964.5	976	1026.5	1062.5	1088.5	1107.5
その他の機種	2744.5	2756	2806.5	2842.5	2868.5	2887.5
	1059.5	1071	1121.5	1157.5	1183.5	1202.5

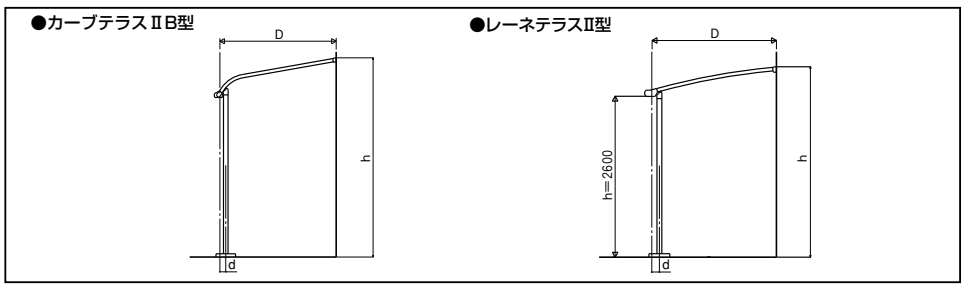
上段：テラス用柱切断寸法　下段：屋根用柱切断寸法

■レーネテラスⅡ・レーネ屋根

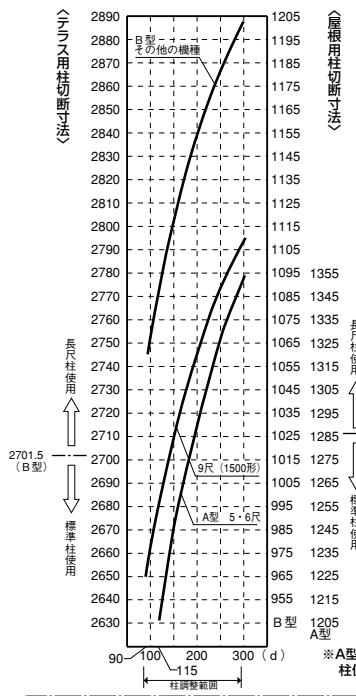
d	120	150	200	250	300
3～6尺	2820 1195	2828 1203	2841 1216	2854 1229	2866 1241
6尺(3000形)	2725	2733	2746	2759	2771
7～9尺	2830	2841	2859	2877	2895
7～9尺(2.5間)	2735	2746	2764	2782	2800

上段：テラス用柱切断寸法　下段：屋根用柱切断寸法

●カーブテラスⅡB型　●レーネテラスⅡ型



■カーブテラスⅡ・カーブⅡ屋根



※A型は全て長尺柱使用。

※カーブテラスB型柱切断寸法算出例

D=6尺　d=150の場合で

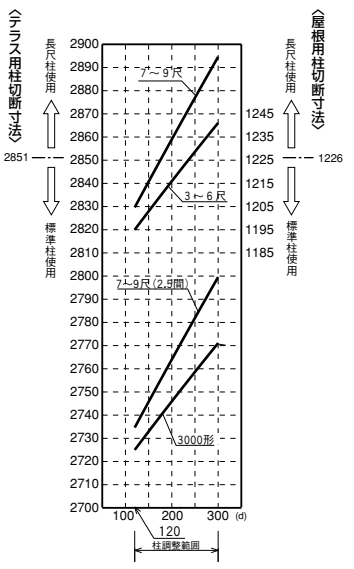
〈標準h=3058の場合〉

柱切断寸法表及びグラフより、柱切断寸法=2806.5

〈垂木掛け位置(h)=2800の場合〉

柱切断寸法=2806.5−(3058−2800)=2548.5

■レーネテラスⅡ・レーネⅡ屋根



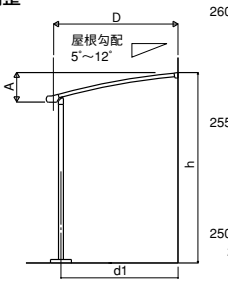
■レーネテラスⅡ　屋根勾配調整

・レーネテラスIIは屋根勾配を5°～12°で調整できます。

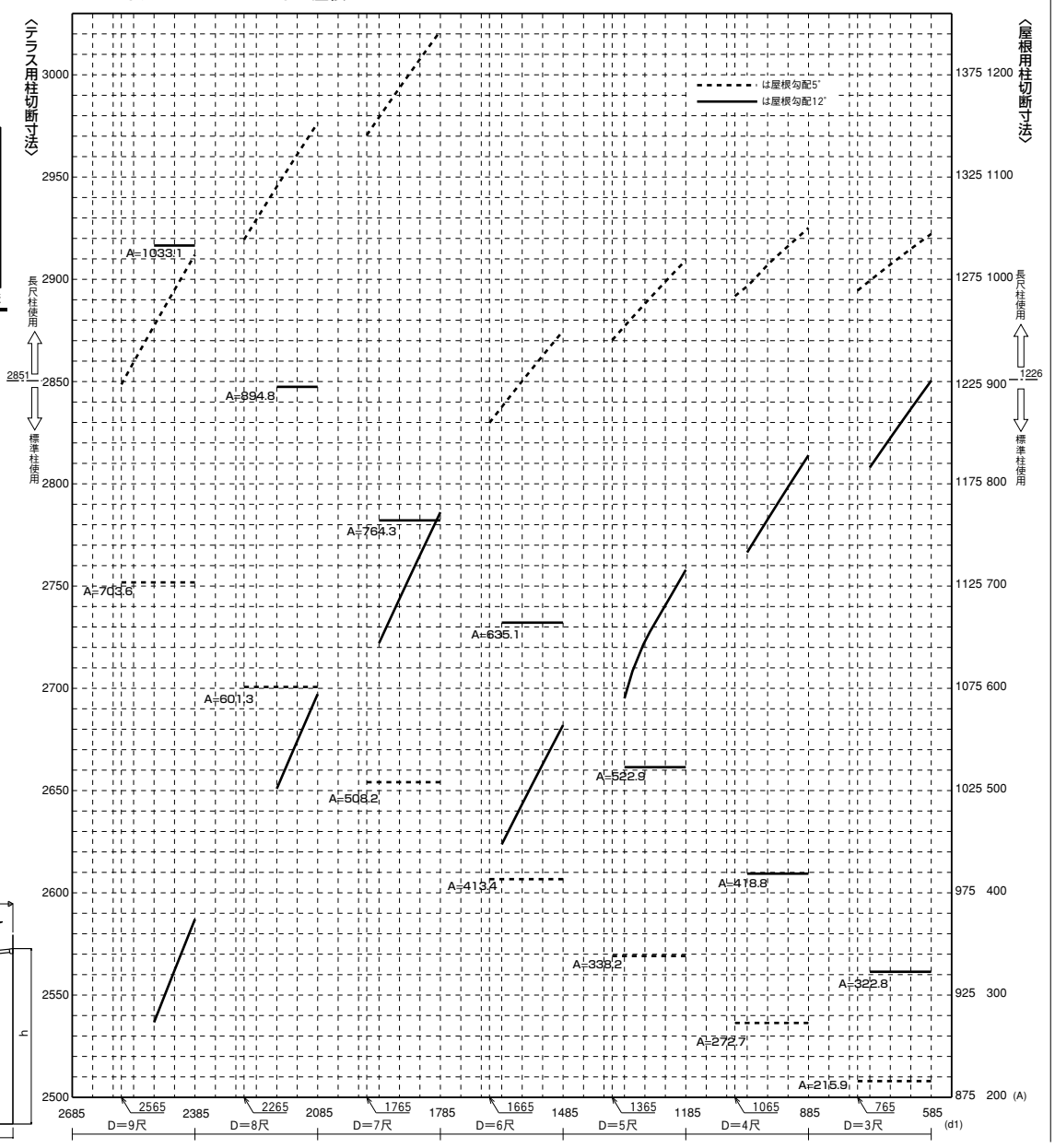
・屋根勾配、d1寸法により柱高さが変わりますので、グラフを参照し、柱長さを決定してください。

（グラフの柱寸法は、姿図・基本図より算出したものです。垂木掛け（h）が変わる場合、算出例をもとに補正してください。

・3000形及び間口2.5間×出幅7～9尺（D）の場合グラフ切断長から95引いてください。



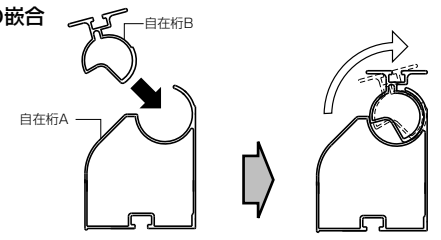
■レーネテラスⅡ型・レーネⅡ屋根型



■取付け順序

1 自在桁A・Bの嵌合

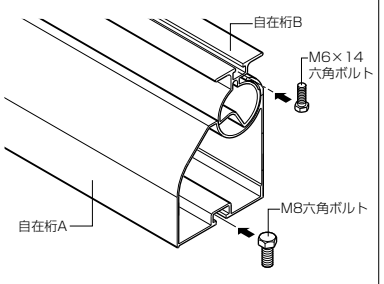
①自在桁Bを自在桁Aに嵌合させます。



②自在桁AにM8六角ボルトを4本差し込みます。

※カーブテラスII9尺(1500形)はボルトを差し込まないでください。

③自在桁BにM6六角ボルトを表に従って差し込みます。



〔M6ボルト挿入数〕

1 間	1.5間	2 間	2.5間
6	8	10	14

2 けたの取付け

（カーブテラスⅡB型 → 9尺1500形タイプ
レーネテラスⅡ → 3000形タイプ
→ 2.5間×9尺・600形タイプ）

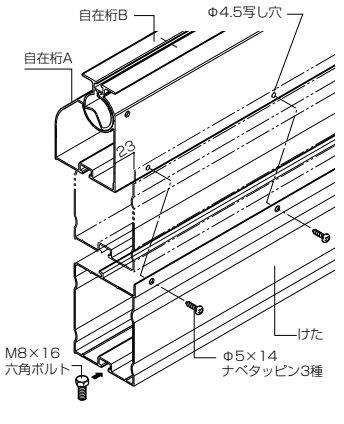
※右表に従い、対応する桁を自在桁に取り付けます。

（右表以外の機種については桁を取り付ける必要はありません。）

商品名	機種		桁種類
カーブテラスⅡB型	1.0～2.0間×9尺 1500形タイプ	関東間	桁A
レーネテラスⅡ	1.0～2.0間×6尺 3000形タイプ	関東間	桁B
	2.5間×9尺 600形タイプ	関東間	桁A
		関西間 九州四国間	桁B

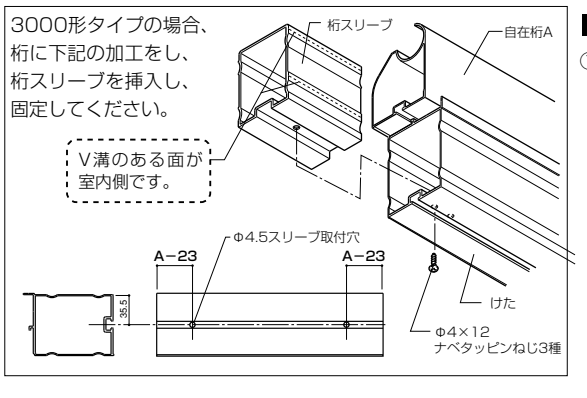
①自在桁Aにφ4.5の写し穴をあけ、ねじ止めします。

②けたにM8六角ボルトを4本差し込みます。



3000形タイプの場合、桁に下記の加工をし、桁スリーブを挿入し、固定してください。

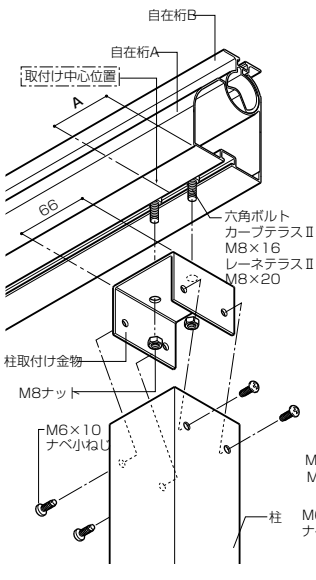
V溝のある面が室内側です。



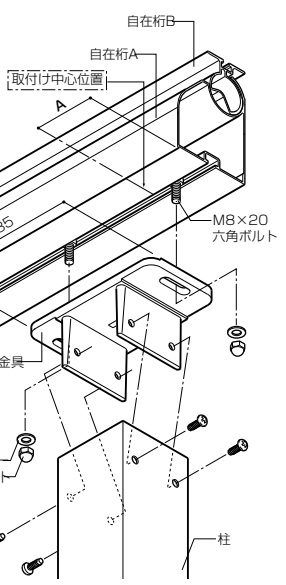
3 自在桁Aと柱の取付け

①各タイプの柱取付け金物の中心をA寸法に合わせ固定します。

●カーブテラスⅡ・レーネテラスⅡ



●カーブⅡ屋根・レーネⅡ屋根



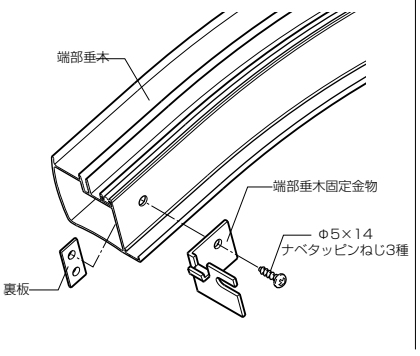
●A寸法表　(単位：mm)

	1 間	1.5間	2 間	2.5間
関東間	238	165.5	98	380.5
関西間	228	160.5	93	365.5
九州四国間	280.5	213	145.5	470.5

※連結の場合A寸法は2倍になります。

4 端部垂木固定金物の取付け（カーブテラスⅡ）

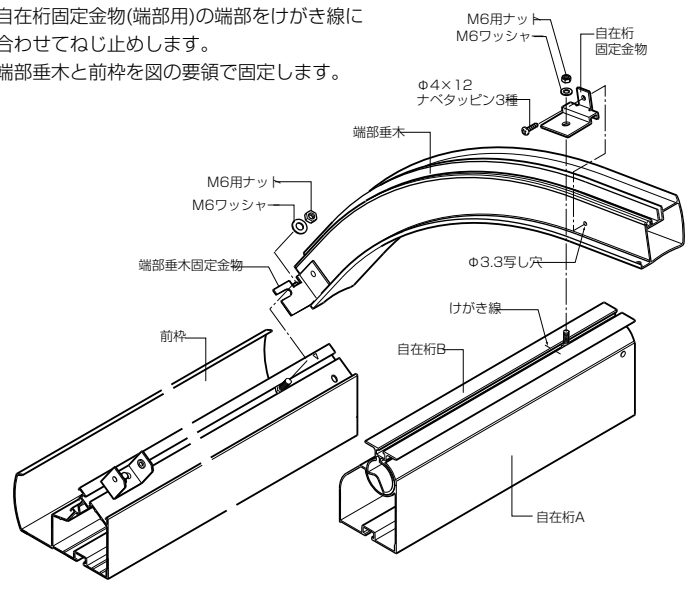
①端部垂木固定金物と裏板を端部垂木に固定します。



5 端部垂木・前枠の取付け

①自在桁固定金物(端部用)の端部をけがき線に合わせてねじ止めします。

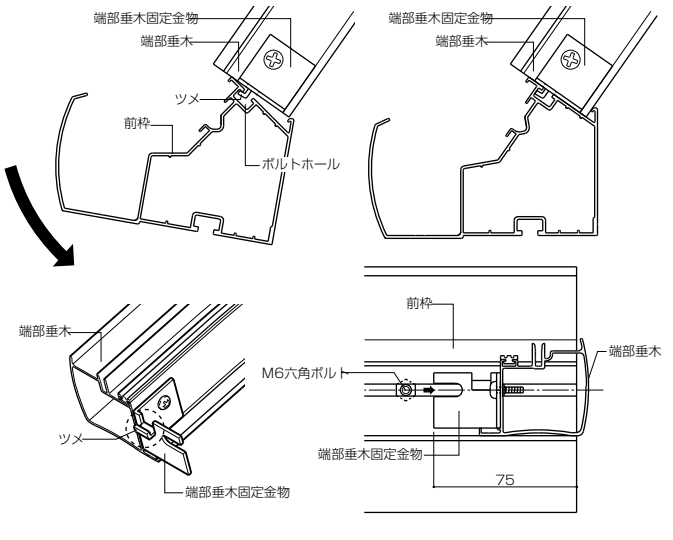
②端部垂木と前枠を図の要領で固定します。



●前枠取付け方法(カーブテラスⅡ)

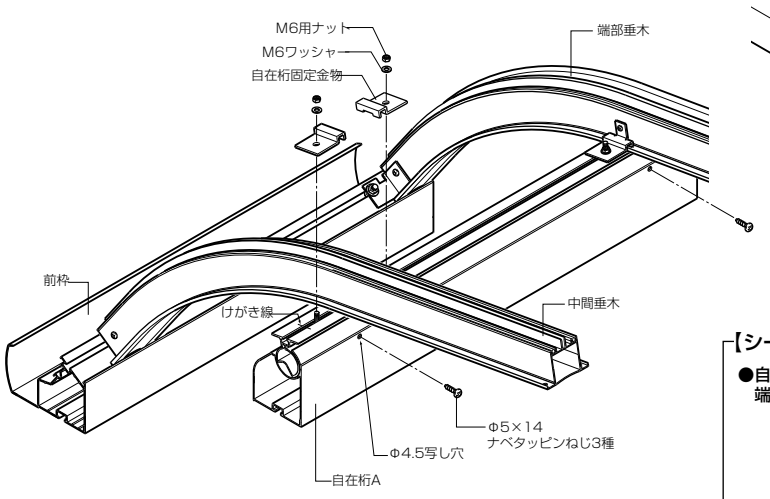
①端部垂木固定金物のツメに、前枠のボルトホールを回転させるように引っ掛けます。(前枠の脱落防止)

②M6ボルトをスライドさせて端部垂木固定金物と前枠をナットで固定します。



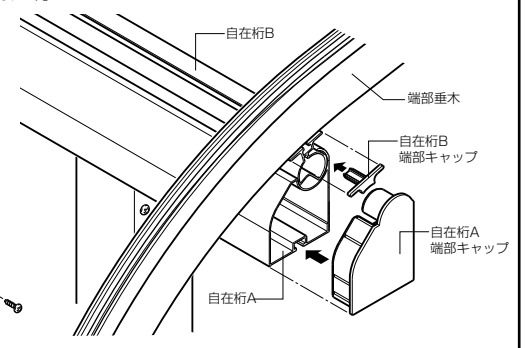
6 中間垂木・自在桁A、Bの固定

①中間垂木を前枠、垂木がけに固定した後、自在桁固定金物の端部をけがき線に合わせて固定します。
②自在桁Aの穴に合わせ、自在桁Bにφ4.5の写し穴をあけてねじ止めします。

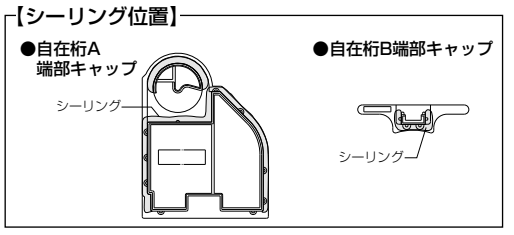


7 キャップの取付けとシーリング処理

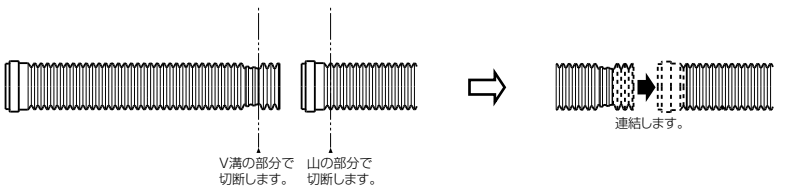
①自在桁A、B端部キャップに十分シーリングした後、取り付けます。



【シーリング位置】



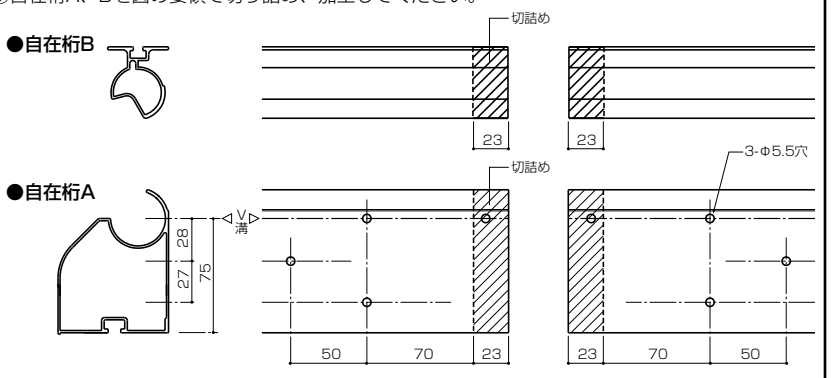
※柱の取付け位置によってジャバラが1本では足りない場合は、2本連結して取り付けてください。



■連結タイプの場合

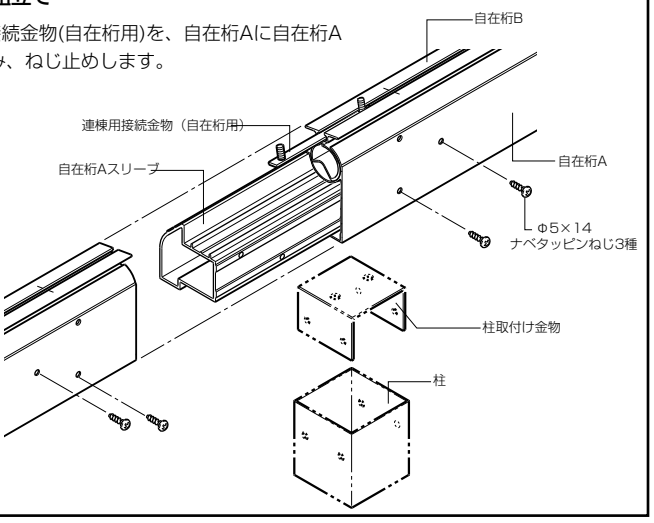
1 自在桁A、自在桁Bの加工

①自在桁A、Bを図の要領で切り詰め、加工してください。



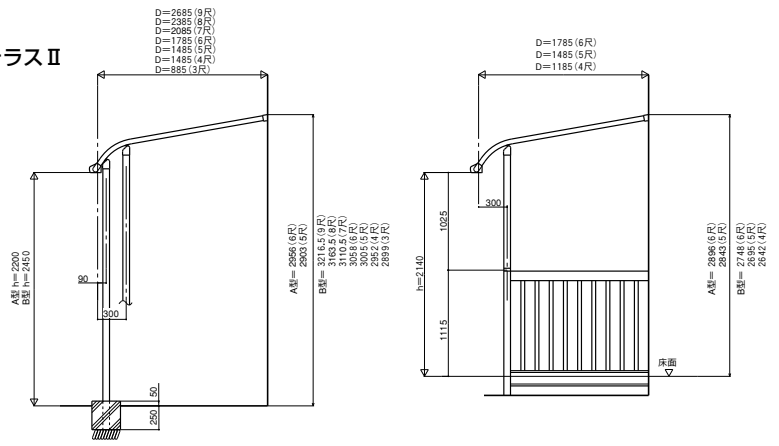
2 自在桁連結部の組立て

①自在桁Bに連棟用接続金物(自在桁用)を、自在桁Aに自在桁Aスリーブを差し込み、ねじ止めします。

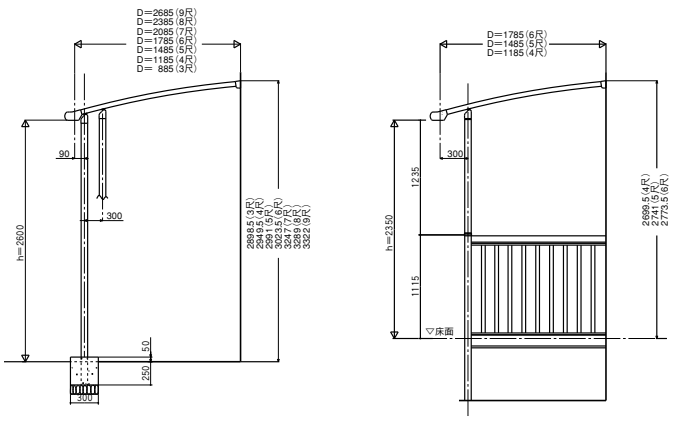


■姿図

●カーブテラスⅡ

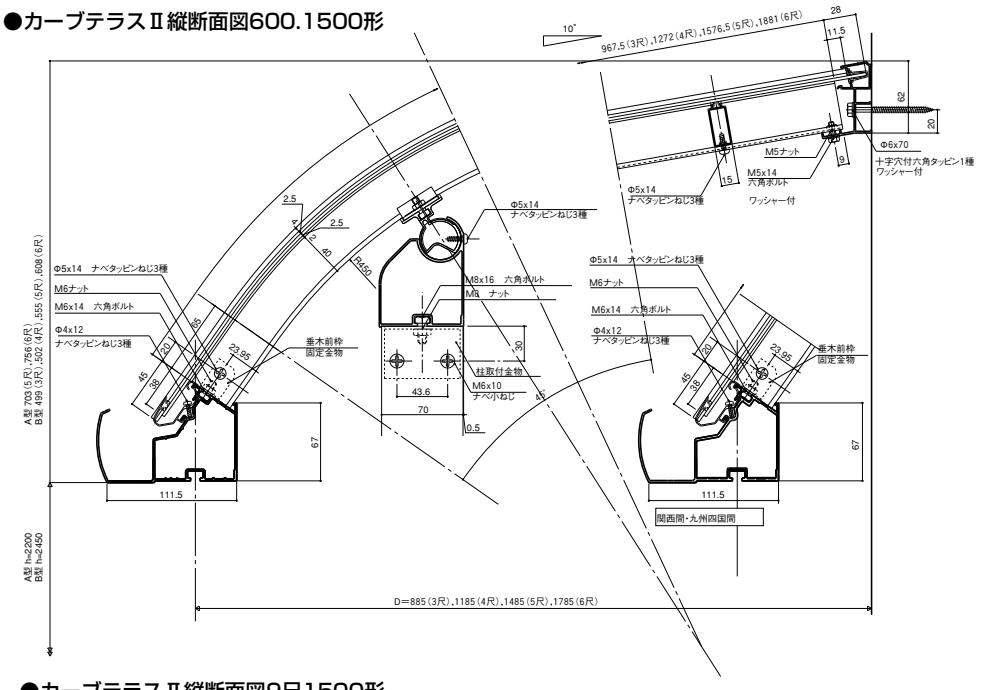


●レーネテラスⅡ

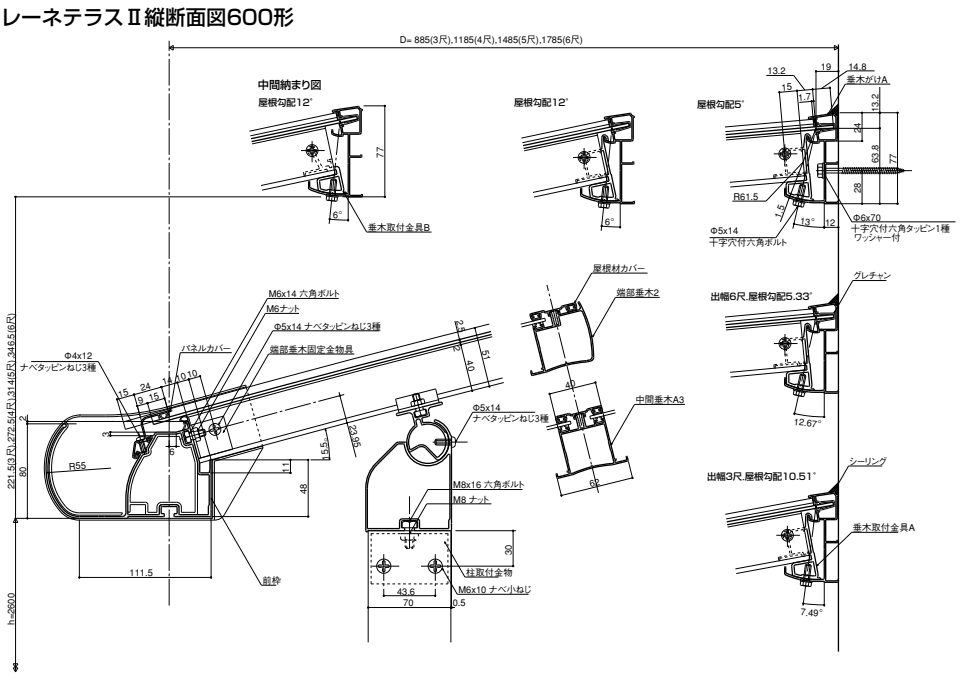


■断面図

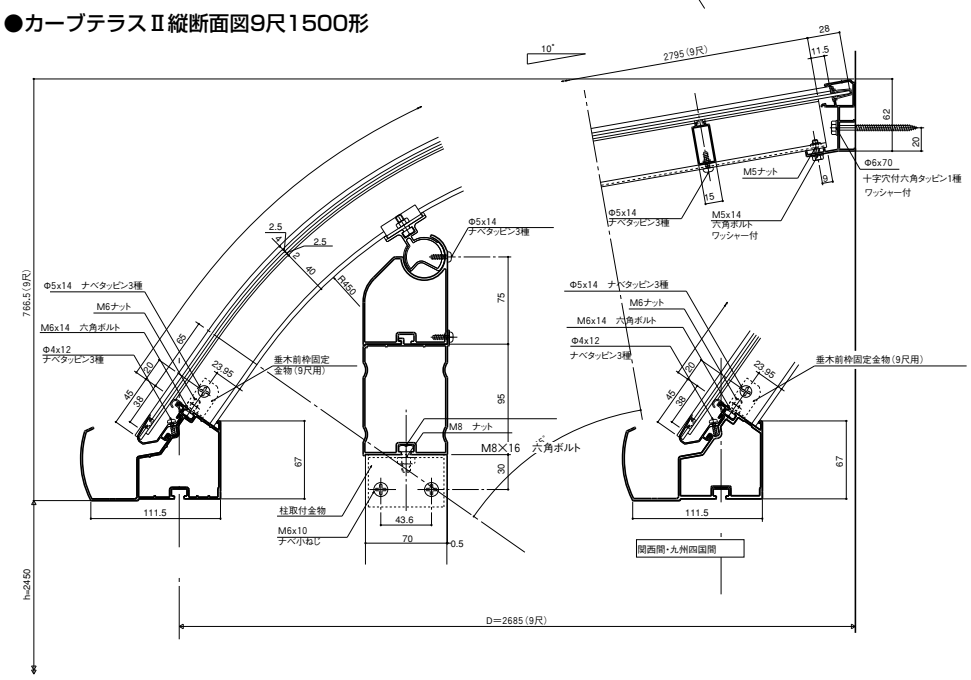
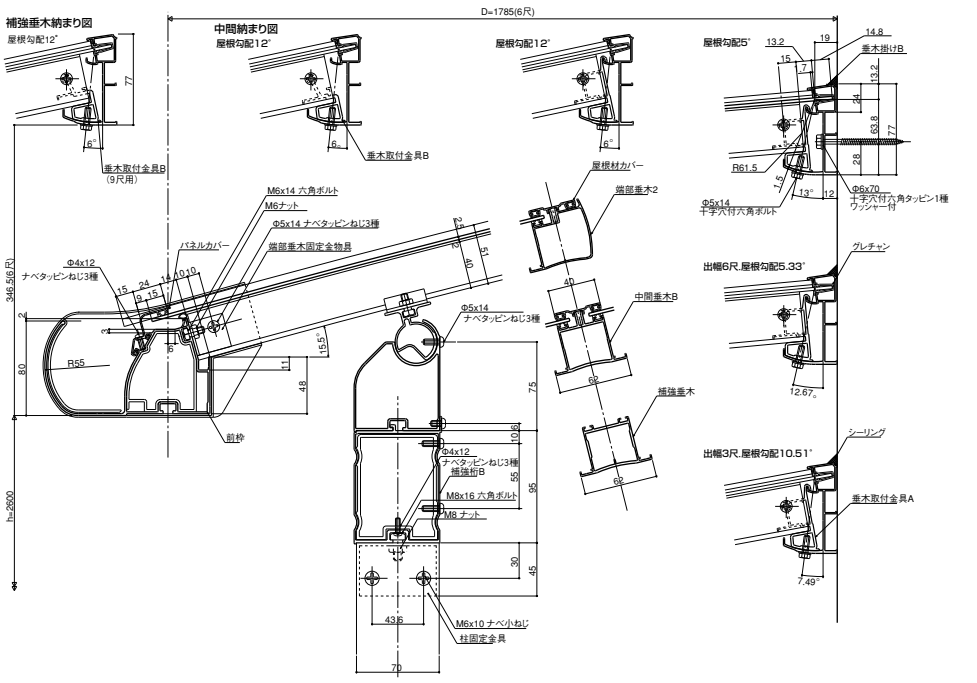
●カーブテラスⅡ縦断面図600.1500形



●レーネテラスⅡ縦断面図600形



●カーブテラスⅡ縦断面図9尺1500形



●レーネテラスⅡ縦断面図3000形